2026年度　第２四半期
クリモトグループ決算説明資料

Challenge to change.

目次

- サマリー
- 2026年度 第２四半期実績
- 2026年度 業績予想
- トピックス
- 参考資料

サマリー

◆ 第2四半期累計は増収、営業利益・経常利益は増益

ライフライン、産業建設資材が堅調に推移し、売上高は前年同期を上回った
営業利益・経常利益は増益となる一方、親会社株主に帰属する中間純利益は減益

◆ 自己株式の取得を実施

8/7から自己株式の買付を開始し11/9に取得価額の総額が上限50億円に到達
取得した自己株式は2027年1月29日に全数消却予定

◆ 加賀屋工場・堺工場の上工程統合が完了

ダクタイル鉄管の溶解・鋳造・焼鈍工程を加賀屋工場へ集約
生産性・環境対応・安定供給の向上に向けた生産体制の再編が完了

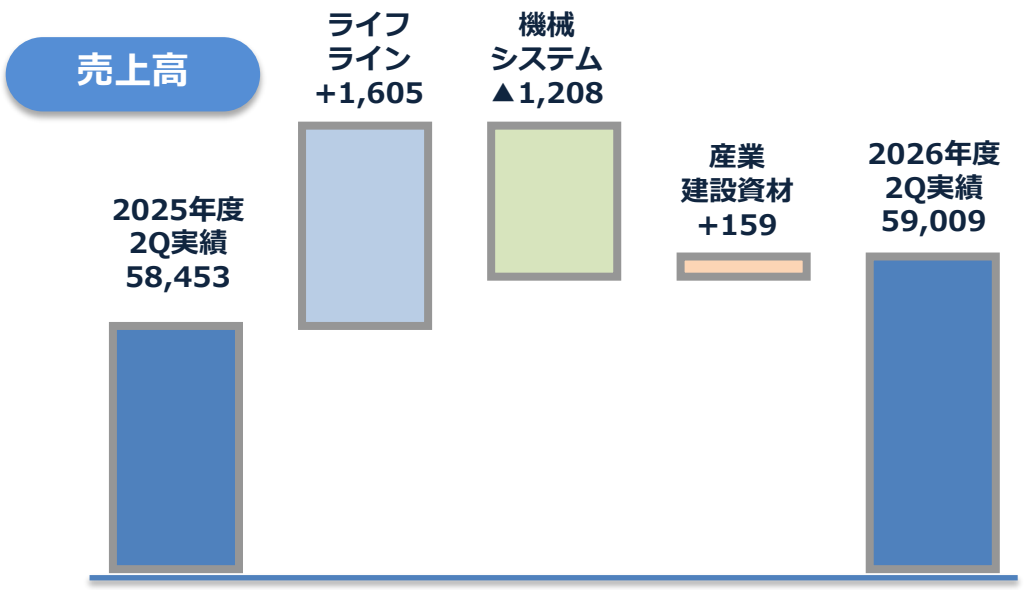
2026年度 第２四半期実績

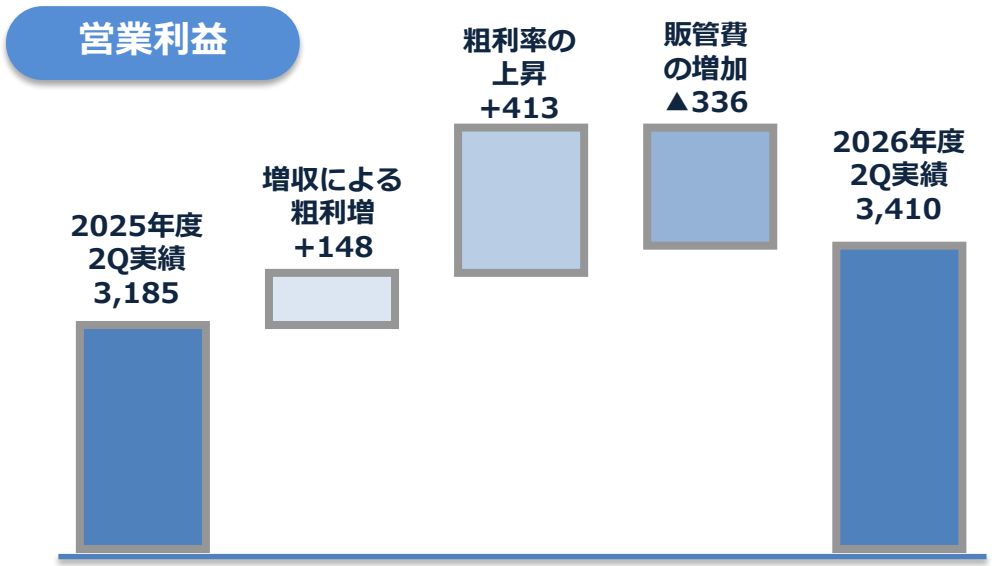
2026年度 第２四半期 業績概要

＜連結＞

（単位：百万円）

	2025年度 2Q実績 (A)		2026年度 2Q実績 (B)		前年比 (B－A)	増減率	2026年度 上期予想 (C)		予想比 (B—C)
売上高	58,453	－	59,009	－	+556	+1.0%	60,000	－	▲991
営業利益/率	3,185	5.4%	3,410	5.8%	+224	+7.1%	3,400	5.7%	+10
経常利益/率	3,313	5.7%	3,580	6.1%	+267	+8.1%	3,500	5.8%	+80
中間純利益/率	3,015	5.2%	2,936	5.0%	▲79	▲2.6%	3,100	5.2%	▲164

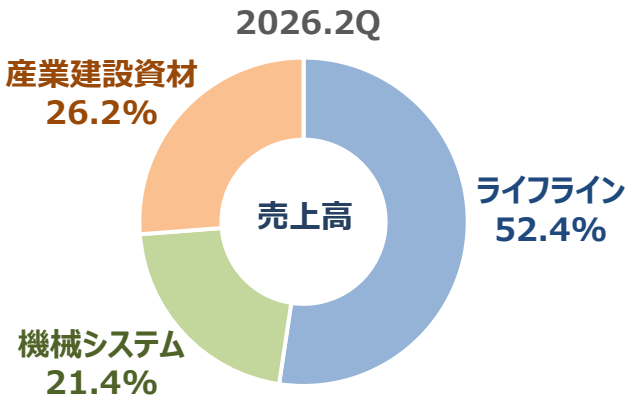


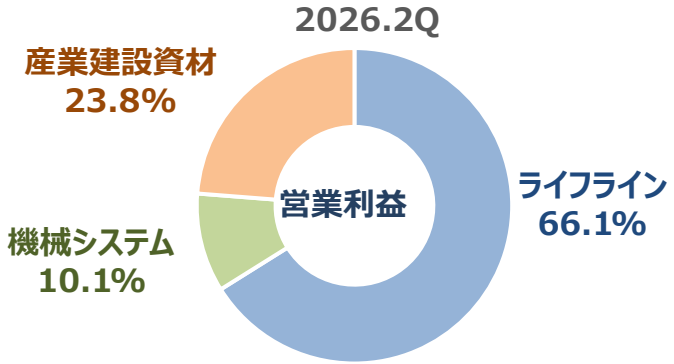


セグメント別業績

（単位：百万円）

		2025年度 2Q実績 (A)	2026年度 2Q実績 (B)	前年比 (B－A)	増減率	2026年度 上期予想 (C)	予想比 (B－C)
ライフライン	売上高	29,307	30,912	+1,605	+5.5%	30,900	+12
	営業利益	1,761	2,446	+684	+38.9%	2,100	+346
	(率)	6.0%	7.9%	+1.9pts	―	6.8%	+1.1pts
機械システム	売上高	13,836	12,627	▲1,208	▲8.7%	13,500	▲873
	営業利益	739	375	▲364	▲49.3%	500	▲125
	(率)	5.3%	3.0%	▲2.3pts	―	3.7%	▲0.7pts
産業建設資材	売上高	15,309	15,469	+159	+1.0%	15,600	▲131
	営業利益	766	879	+112	+14.8%	1,000	▲121
	(率)	5.0%	5.7%	+0.7pts	―	6.4%	▲0.7pts





※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

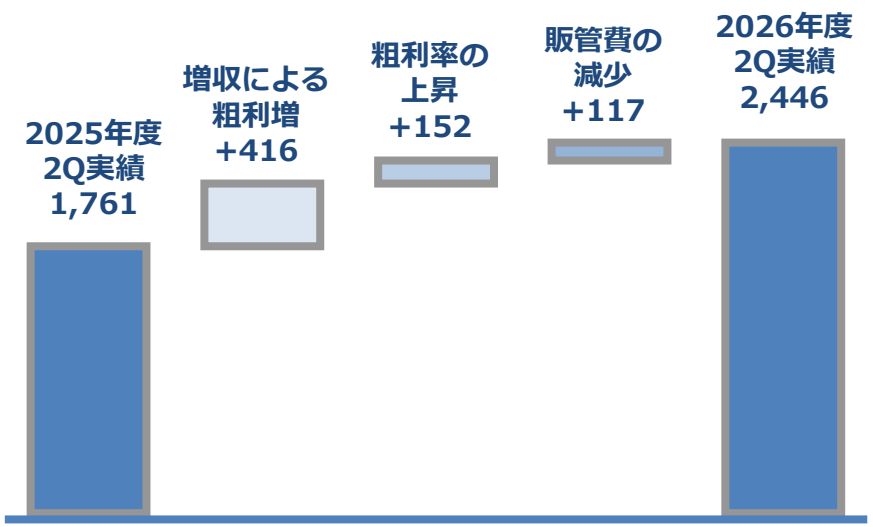
事業セグメント別概況

ライフラインセグメント

（単位：百万円）

	2025年度 2Q実績 (A)	2026年度 2Q実績 (B)	前年比 (B−A)	増減率	2026年度 上期予想 (C)	予想比 (B−C)
売上高	29,307	30,912	+1,605	+5.5%	30,900	+12
営業利益	1,761	2,446	+684	+38.9%	2,100	+346
（率）	6.0%	7.9%	+1.9pts	―	6.8%	+1.1pts

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

バルブシステム部門において減収となったものの、パイプシステム部門および関係会社において出荷が好調に推移したことにより前年同期比1,605百万円の増収

営業利益

増収による利益増などにより前年同期比684百万円の増益

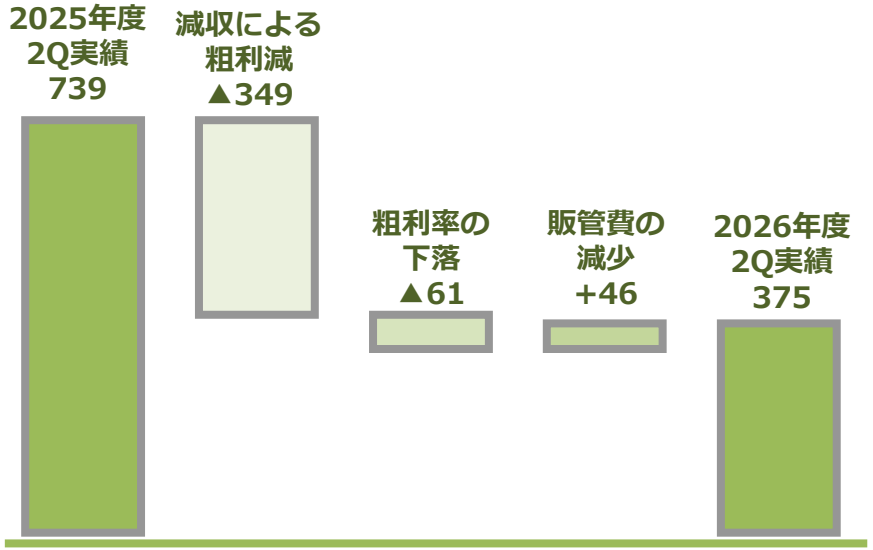
事業セグメント別概況

機械システムセグメント

（単位：百万円）

	2025年度 2Q実績 (A)	2026年度 2Q実績 (B)	前年比 (B−A)	増減率	2026年度 上期予想 (C)	予想比 (B−C)
売上高	13,836	12,627	▲1,208	▲8.7%	13,500	▲873
営業利益	739	375	▲364	▲49.3%	500	▲125
（率）	5.3%	3.0%	▲2.3pts	―	3.7%	▲0.7pts

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

素形材部門において増収となったものの、機械部門においてお客様の発注時期の遅れに伴い進行基準売上高が減少したことなどにとり、前年同期比1,208百万円の減収

営業利益

減収による利益減などにより前年同期比364百万円の減益

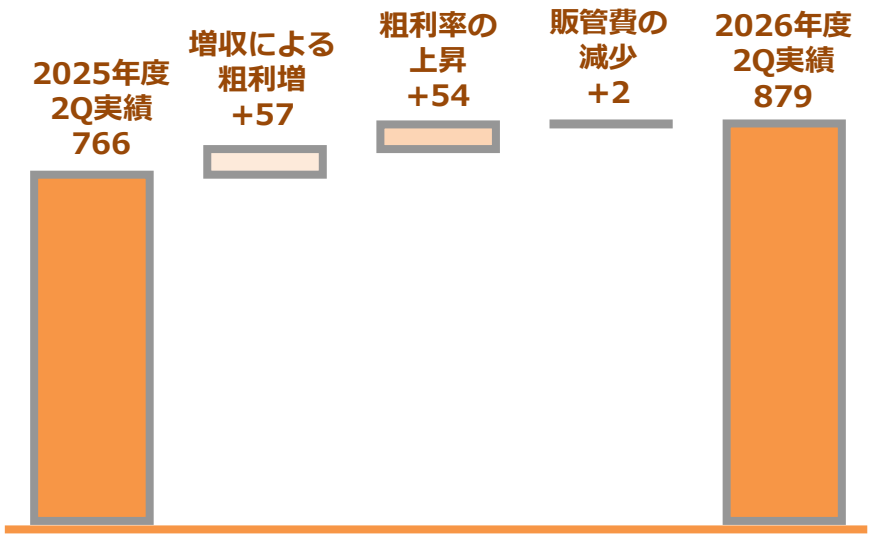
事業セグメント別概況

産業建設資材システムセグメント

（単位：百万円）

	2025年度 2Q実績 (A)	2026年度 2Q実績 (B)	前年比 (B−A)	増減率	2026年度 上期予想 (C)	予想比 (B−C)
売上高	15,309	15,469	+159	+1.0%	15,600	▲131
営業利益	766	879	+112	+14.8%	1,000	▲121
（率）	5.0%	5.7%	+0.7pts	―	6.4%	▲0.7pts

営業利益増減内訳（連結）



事業セグメント別売上高・営業利益

売上高

化成品部門において電力分野が好調に推移したことなどにより前年同期比159百万円の増収

営業利益

増収による利益の増加などにより前年同期比112百万円の増益

2026年度 業績予想

2026年度 業績予想

- ライフラインセグメントは、水道インフラの更新・耐震化需要を背景に、パイプシステム部門を中心として引き続き堅調な推移を見込む
- 産業建設資材セグメントは、電力分野を中心とした化成品部門の堅調な需要などにより、増収増益を見込む
- 機械システムセグメントは、受注環境の停滞等の影響が残るものの、下期にかけての案件進捗と収益性改善に取り組む
- 政策保有株式の売却に伴う特別利益の計上などにより、当期純利益は75億円を見込む

（単位：百万円）

<連結>	2025年度 通期実績 (A)		2026年度 通期予想 (B)		前年比 (B－A)	増減率
売上高	128,126	－	131,000	―	+2,874	+2.2%
営業利益/率	8,059	6.3%	8,500	6.5%	+441	+5.5%
経常利益/率	8,319	6.5%	8,600	6.6%	+281	+3.4%
当期純利益/率	6,701	5.2%	7,500	5.7%	+799	+11.9%

<セグメント別>		2025年度 通期実績 (A)	2026年度 通期予想 (B)	前年比 (B－A)	増減率
ライフライン	売上高	65,960	68,500	+2,540	+3.9%
	営業利益	4,732	5,250	+518	+10.9%
	(率)	7.2%	7.7%	+0.6pts	―
機械システム	売上高	27,448	27,000	▲448	▲1.6%
	営業利益	1,259	1,200	▲59	▲4.7%
	(率)	4.6%	4.4%	▲0.5pts	―
産業建設資材	売上高	34,717	35,500	+783	+2.3%
	営業利益	2,404	2,750	+346	+14.4%
	(率)	6.9%	7.7%	+0.8pts	―

トピックス

株主還元/自己株式の取得完了

◆ 上限50億円の自己株式取得を完了、取得した300万3700株は2027年1月に全数消却予定

取得価額

50億円 ／ 上限 50億円

取得額上限に到達

取得株式数

300万3700株 ／ 上限 350万株

取得期間

2026年8月7日 ～ 11月9日

消却株式の割合

発行済株式総数の **4.69%**

2027年1月29日に全数消却予定

次期中期経営計画を見据え、資本効率向上と株主価値向上に向けた施策を着実に実行

ダクタイル鉄管の生産体制再編/上工程統合プロジェクトが竣工

◆ 生産性・環境対応・安定供給を同時に高め、水道インフラ更新需要に対応する生産基盤を整備

2026年7月　上流工程統合プロジェクト竣工





堺工場の溶解・鋳造・焼鈍工程を加賀屋工場へ集約

生産ラインの再構築と設備刷新により、
効率的で柔軟な生産体制を確立

① 生産性向上･省人化

- ✓溶解設備の改造による処理能力向上
- ✓新たな鋳造機を４台導入
- ✓稼働設備台数の集約と工程効率化

② 環境負荷の軽減

- ✓キュポラ･焼鈍炉の集約
- ✓非化石燃料への転換を段階的に推進
- ✓CO2排出量40%以上削減可能な技術を確立

③ 安定供給体制の強化

- ✓水道インフラ更新需要への対応力強化
- ✓小口径製品の生産機能を集約
- ✓製品供給の柔軟性向上

参考資料

会社概要（2026年3月末時点）

- 会社名　：株式会社栗本鐵工所
- 創立　：1909年2月2日（明治42年）
- 所在地　：大阪府大阪市西区北堀江1丁目12番19号
- 上場証券取引所：東証プライム市場（証券コード：5602）
- 代表者　：代表取締役社長 菊本 一高
- グループ会社　：国内外22社
- 連結従業員数　：2,238名
- 資本金　：311億円
- 発行済株式総数：63,992,450株
- 株主総数　：32,082名

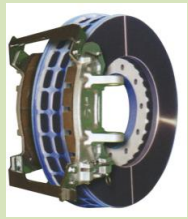


事業部門の構成と主な製品①

◆ 社会インフラと産業設備事業の構成、官需/民需のバランスが良く、好不況の波に強い事業基盤を持つ

社会インフラ ＝ 安定性
上下水道、道路、通信、交通など
人・生活において基盤となる施設。
売上比率 約50%

産業設備 ＝ 成長性
売上比率 約50%
メーカーの生産活動に必要な
機械、プラントなどの製造設備。

ライフラインセグメント		機械システムセグメント		産業建設資材セグメント	
パイプシステム	バルブシステム	機械システム	素形材ＥＮＧ	建材	化成品
水道用ダクタイル鉄管	水道用・産業用バルブ	鍛造プレス、混練機	耐熱・耐摩耗鋳物 破砕機	空調用ダクト等の 建築資材	電力ケーブル保護管 等のFRP(M)製品
					
					

事業部門の構成と主な製品②

事業セグメント	主な事業ドメイン	事業部	主な製品	主な需要先
ライフラインセグメント	社会インフラ 産業設備	パイプシステム	ダクタイル鉄管類	水道事業体
		バルブシステム	水道用バルブ 産業バルブ	水道事業体、 製鉄・電力等各種プラント、 ポンプメーカー
機械システムセグメント	産業設備	機械システム	鍛造プレス	自動車関連メーカー
			粉体処理機	カーボン、エンプラ、 二次電池関連メーカー　他
			プラント エンジニアリング	プラントエンジニアリング企業
		素形材 エンジニアリング	耐磨耗鋳物 破砕機	鉄鋼、セメント、電力、環境、 砕石関連企業
産業建設資材セグメント	社会インフラ 産業設備	建材	建築資材	管材商社、空調設備業者、 ゼネコン等
		化成品	FRP(M)製品	国･地方公共団体、電力会社、 ゼネコン、フィルム関連メーカー

経営理念/ありたい姿

◆「四方よし」の精神で全てのステークホルダーの期待と信頼に応えることを、「経営理念/ありたい姿」に
◆「経営理念/ありたい姿」の実現にむけ、経営の考え方を「経営方針」として具体化

クリモトグループの経営理念/ありたい姿

経営理念

私たちは、全てのステークホルダーの期待と信頼に応え、
常に最適なシステムを提供し、『夢ある未来』を創造します

ありたい姿

「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の「三方よし」に、
「未来もよし」を加えた「四方よし」の精神で、
将来にわたって社会へ貢献できる企業グループを目指す

拠点一覧（2026年3月末時点）

国内本支店
本社（大阪）、東京、北海道、東北
名古屋、中国、九州

製造拠点
加賀屋、堺（パイプシステム）
住吉（バルブシステム、機械システム、素形材）
交野、古河（建材）
湖東、滋賀（化成品）　他

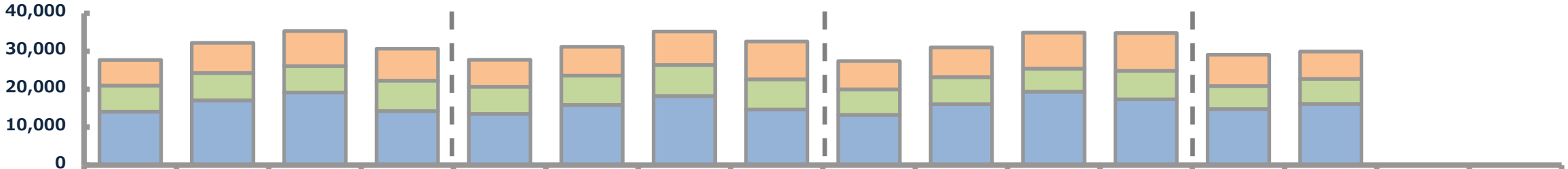
海外拠点
ヨーロッパ事務所（ドイツ）、
ジャカルタ事務所（インドネシア）



セグメント別 四半期業績推移（連結）

売上高

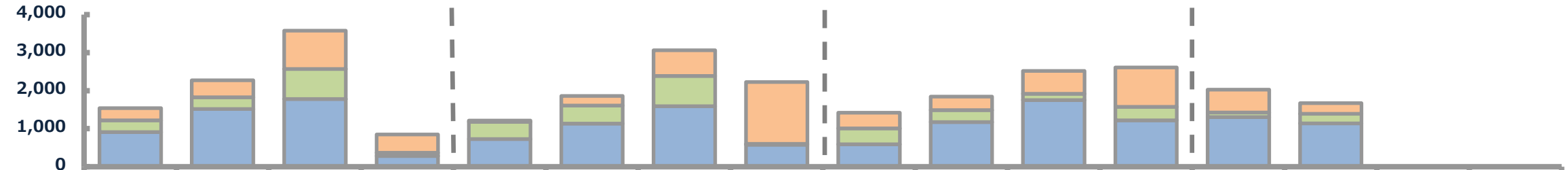
（単位：百万円）



	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q	2025 1Q	2025 2Q	2025 3Q	2025 4Q	2026 1Q	2026 2Q	2026 3Q	2026 4Q
産業建設資材	6,753	7,949	9,225	8,413	7,067	7,620	8,829	9,989	7,484	7,825	9,486	9,922	8,263	7,206		
機械システム	6,921	7,234	6,973	8,016	7,166	7,702	8,143	7,948	6,711	7,125	6,076	7,536	6,032	6,595		
ライフライン	14,052	17,041	19,119	14,227	13,496	15,858	18,220	14,633	13,237	16,070	19,335	17,318	14,773	16,139		

営業利益

（単位：百万円）



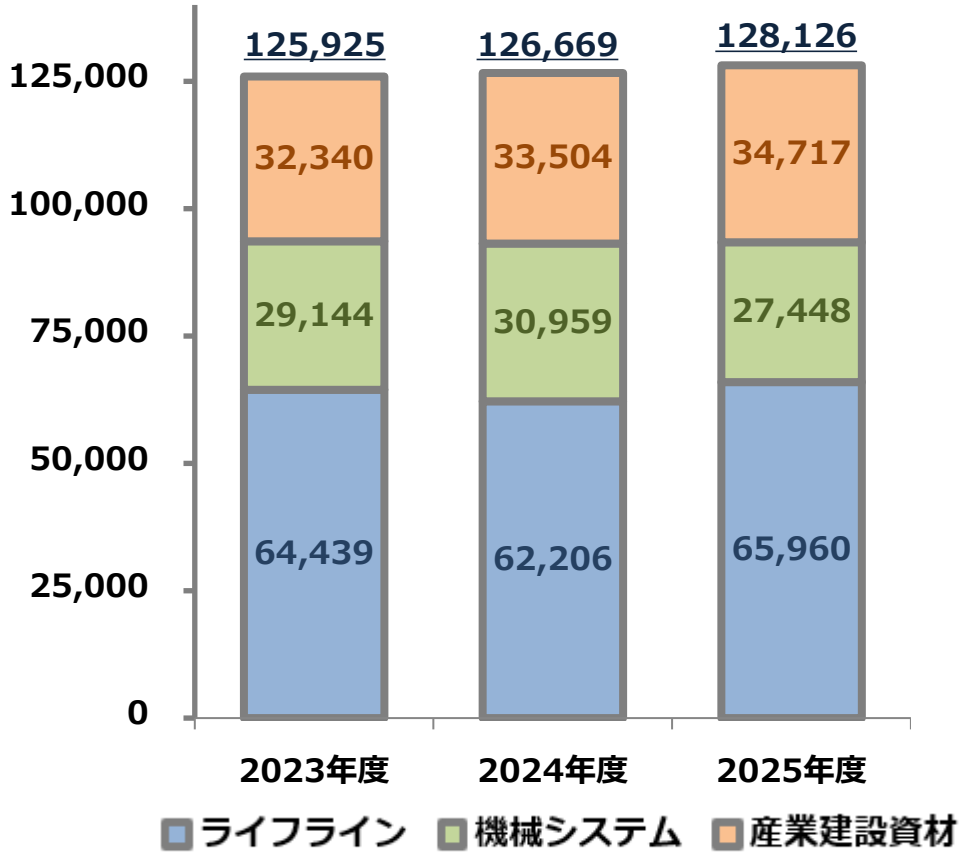
	2023 1Q	2023 2Q	2023 3Q	2023 4Q	2024 1Q	2024 2Q	2024 3Q	2024 4Q	2025 1Q	2025 2Q	2025 3Q	2025 4Q	2026 1Q	2026 2Q	2026 3Q	2026 4Q
産業建設資材	321	447	1,007	480	38	248	676	1,624	414	352	602	1,036	602	277		
機械システム	308	309	789	85	451	479	794	23	419	320	165	355	122	253		
ライフライン	913	1,515	1,782	284	727	1,132	1,592	578	589	1,172	1,752	1,219	1,305	1,141		

※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

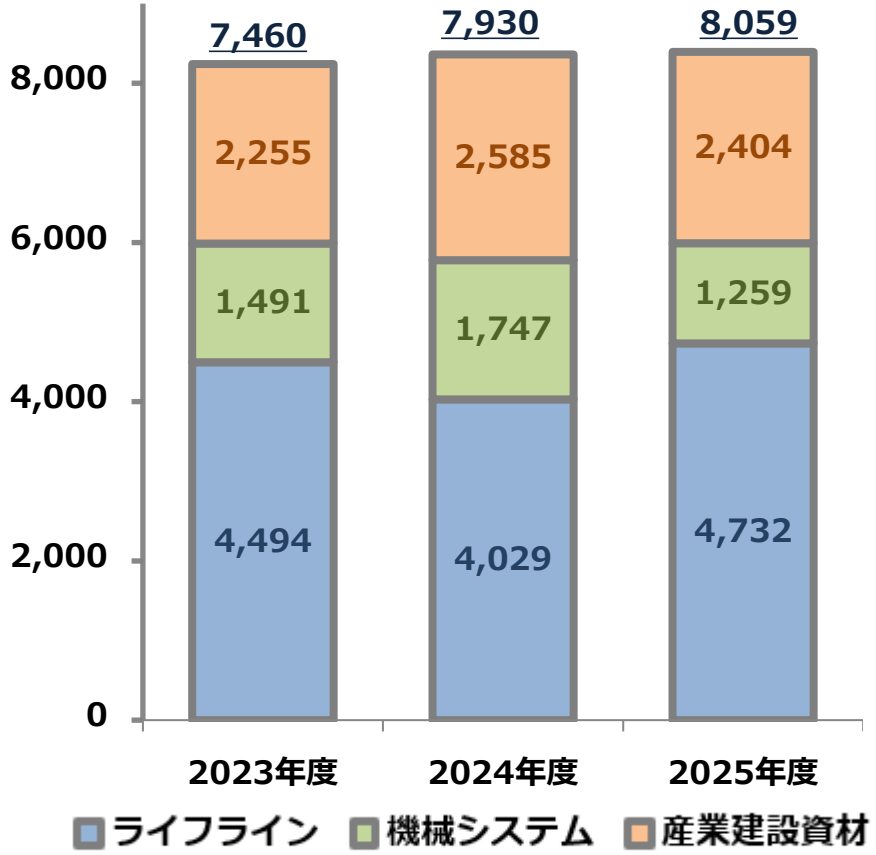
セグメント別 年度業績推移

（単位：百万円）

売上高

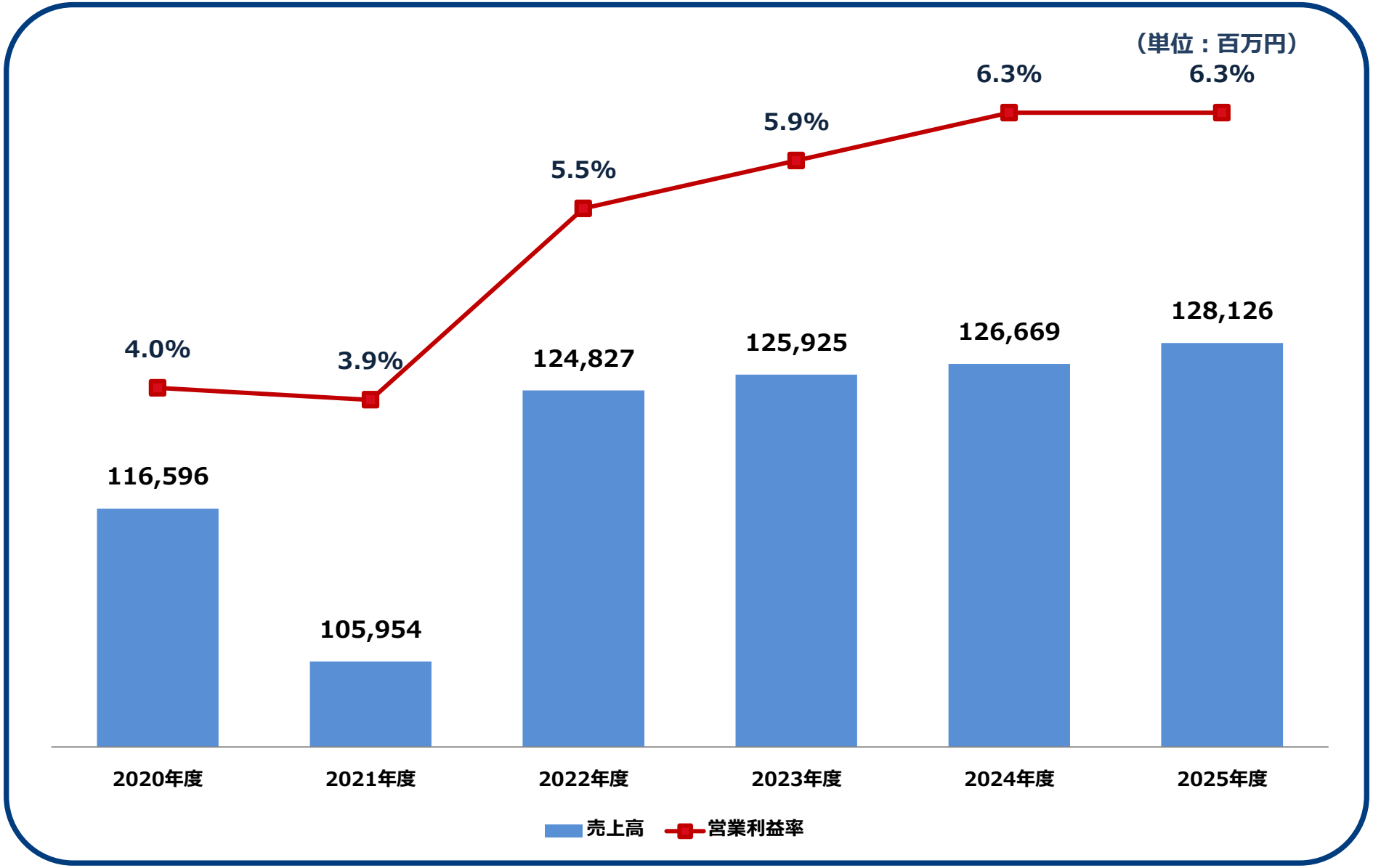


営業利益



※営業利益合計額は調整額を含んでいるため、セグメント利益の合算値とは合致しません。

売上・営業利益率推移


（単位：百万円）
4.0%
3.9%
5.5%
5.9%
6.3%
6.3%
116,596
105,954
124,827
125,925
126,669
128,126
2020年度
2021年度
2022年度
2023年度
2024年度
2025年度
売上高
営業利益率

資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

問い合わせ先
株式会社栗本鐵工所
総合企画室　IR・SR部
TEL:06-6538-7719
E-mail : ir@kurimoto.co.jp
HPアドレス : https://corp.kurimoto.co.jp


KURIMOTO